

平成31年1月4日

## 全管理職に向け、石森市長が年頭訓示を実施

平成31年の仕事始めとなった本日4日、石森孝志八王子市長が全管理職に対し、年頭訓示を行った。会場には、木内・駒沢両副市長をはじめ、安間教育長、伊藤代表監査委員、部課長約170名が整列した。

石森市長は冒頭、昨日発生した熊本県の地震に触れ、いざと言うときに迅速に、的確に活動できる防災体制を整えておくよう指示した。

次に明るい話題として、箱根駅伝に出場した市内の4大学（帝京・法政・拓殖・中央）が活躍したことを喜ぶとともに、これからも八王子に縁のある人たちが活躍することに大いに期待していると述べた。

昨年、フィナーレを飾った市制100周年記念事業については、記念事業を通じて培った市民力と地域力を新たな100年に向けて活かしていくとともに、将来の八王子について、いただいた夢や希望に関する提言を実現し、叶えることが、行政の役割であることを語った。

最後に、東京2020オリンピック・パラリンピックに関連したスポーツイベント、特に7月開催の「自転車ロードレース」のプレ大会や8月に日本初開催となる「スポーツクライミング世界選手権」の開催に触れ、全世界に八王子の名を発信していく絶好の機会として、大会を成功させるとともに、中核市移行5年目を迎え、八王子の底力を発揮する年となるよう力強く所信を表明し、結んだ。



管理職に向け年頭訓示を行う石森市長